

## 河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河道掘削による洪水攪乱の誘発と新たな河川維持管理技術の確立に関する研究（H21年～H22年）	群馬大学大学院 清水 義彦	A
<b>&lt;研究概要&gt;</b> <p>砂州の河道内樹林化や比高のある固定化砂州の存在が治水・河川環境上の課題となっている礫床河川において、砂州の部分掘削により中小洪水の一部を砂州内部に導き（掘削路による洪水誘導）、地形攪乱を誘発させることで植生化の抑制、固定化砂州の除去（横断比高の解消）とそれに伴う低水路への砂礫供給、屈曲した低水路線形の是正等の効果発現を明らかにした。そして、洪水の自然営力を用いた新たな河道維持管理技術としての砂州掘削の有効性を提示した。</p>		
<b>&lt;事後評価コメント&gt;</b> <p>濡筋の固定化や河道内樹林化という治水・環境上の課題に対して、固定砂州や低水路の一部を掘削し洪水を導くという大規模な現地実験等を通して、自然営力を利用して樹林化の抑制、流下能力の向上、砂礫の供給等を実現するという技術的な成果が得られており、研究計画における目標は達成されている。 今後は、継続的なモニタリングによる検証が必要であり、また、予測技術への発展が望まれる。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い